

あゆみ

水川学園広報部

〒869-4602 八代郡水川町宮原1116

TEL (0965) 62-4081

FAX (0965) 62-4080

Mail hikawagakuen@seiryu-hikana.com

HP <https://hikawagakuen.com/>

水川学園

Summer is in full swing
Have a good summer!!!



変わること 変えること

「最後の晩餐の絵が欲しいので、お願いします。図書館に行けないからお願います。これは大変な大作になります。」と、利用者さんからお手紙が届いた。絵を描くことが大好きな人で、これまで有名な絵の模写を好んで？されている。社会生活の体験も多く、何でも詳しく、会話も機知に富んで楽しい人である。で、「最後の晩餐」である。何のきっかけで思い浮かべられるのだろうか。

「レオナルド・ダ・ヴィンチよ。知っているでしょ？」とくる（笑）。コピーを手渡すことにするが、また夜寝るのも忘れて描き続けられるのでは、多少心配も伴うが、大作に間違いないだろうと楽しみである。

この方に限らず、絵画やちぎり絵、書、さをり織り、手芸・小物作り等々：熱心に創作活動に取り組んでいる方が少なくない。日中活動の中で提供していることもあるが、互いに触発されるかのように、楽しんで好んで行われている様子が伺える。

あらためて、この数年の間に、日中活動の内容が全体的に大きく様変わりしていることを考えさせられている。先日、地元の小学校での研修に向いた折、「以前は、養鶏の卵や農作物の野菜や漬物からイモ天までの販売にご協力いただきましたね。ありがとうございました。」と、お礼を伝えてきたのだが、今や「農作業」

や「養鶏」など、身体を資本とする活動はほぼ出来なくなった。入所部の利用者さんの平均年齢は五八歳、最高齢が八六歳。障がい支援区分は五と六で占めている。高齢化と重度化は顕著で、単に高齢化しているだけでなく、伴つての身体機能の低下、疾病の保有率はかなり高い。自ずと、一日の生活のリズム、スケジュールから、日中活動の内容に至るまで、見直し・変更は免れない状況である。（その上、この一年半はコロナ禍も追い打ちをかけている。）

入所ご利用の四十人のうち七人は車椅子を常時使用、自力歩行はされていないが、常に何らかの支えがないと歩行が不安定な人は十人を下らない。結果、室内での机上で出来る内容の活動に限られてくるところも大きい。それでも、可能な限りの歩行を促し、身体を動かす機会を設けることは必須として、リハビリテーション・ハビリテーションの工夫を凝らしながら取り組んでいる。

身体が不自由になっても、作物を育てる楽しみを持たれる方は多く、その機会として、各ユニットのベランダでの家庭菜園も賑わっている。

自分の手で種を撒いたり、苗を植えたりして、育っていく様子を、収穫する楽しみは大きい様である。今夏も、良く育った夏野菜で作ったおやつやおかずの品々を私にも届けてくれたり、お呼ばれして一緒に味合わせたいだりしている。普段は野菜嫌いな人も、自分たちで手掛け

桜の樹の下で

たものは、入っていくようで不思議なものだ。畑で多くの作物を汗水たらして作っていた時とは、随分趣が変わったが、これはこれで、なかなか楽しいものだと感じている。

創作活動においても、全員が好まれ得意とされることなくとも、五人・十人のユニットの活動の中で、誰かが取り組んでいると、興味関心を持たれ、自分もやりたいと申し出る方も出てきて、結果皆が何かしらの創作に携わられている。創作は、本当にひとりひとりの個性と呼ぶべきか？それぞれの違いが浮き彫りにされて、眺めていても楽しさが大きい。同じものを題材にしても、出来上がりは千差万別である。兼ねてより「障がいとは違いであって優劣ではない」ということを伝えられたらと思っているが、彼らの創作活動を目の当たりにすると、それが少しは体感してもらえらるのではないかと思う。四十年の記念に創った「日めぐりカレンダー」のみんなの作品が、お陰様で好評なのは、そんなことが伝わってくれている証しかと、手前味噌だが嬉しく感じている。

一方で、創作に支援者の立ち位置で関わると、真面目な人ほど、「教え」たがりになるような気がする。ひまわりの絵を描いている人に「花びらは黄色よ」と口を挟んでしまうように：自分の中の常識？当たり前に、相手を誘導しようとしてしまうことではないだろうか。もちろん、取り組むための準備や設定は必要だが、花や

草木、空や雲、海、何を取っても決まった色、一色なわけがない。自分の当たり前が他者にとっても当たり前と決めつける癖を、出来るだけ引つ込め、その人が思うがまま、感じるがまま取り組んでもらうと、唯一無二の楽しい作品が仕上がってくる。

冒頭の「最後の晩餐」を希望されている利用者さんの模写されたゴッホの「ひまわり」は活き活きと今にも動き出しそうな仕上がりで、個人的には大好きな絵となっている。

開園からの四十年という歳月で利用者さんの状態の変化に伴い、日常生活の在り様、活動の内容を変えざる得なくなつたのは事実であるが、結果変わったことで、新しい発見や出来事に遭遇できている。変わることの抵抗が大きかったのは、利用者さんたちではなく、自分自身ではなかつたかと自省している。

東京二〇二〇オリンピックのテレビ観戦に、氷川のみんなも手作りの旗を手に盛り上がっている。日本の選手の活躍を楽しみに見入っている自分がある。開催の是非を問う気持ちと、実際の競技、選手を応援する気持ちと、そして留まることを知らないコロナ感染拡大を捉える気持ちと：複雑に入り混じっている。コロナ禍で、世界中の人の生活は大きく変わった。変わることへの抵抗より、如何に前向きに変えていけるかが求められているとは解るけれど、正直胸中複雑なままである。

支援者の窓



入所支援員の梅田と申します。

水川学園に務めて8年目になります。入職して、あつという間の7年間で、久しぶりに振り返っています。支援をさせて頂きながら、利用者さん達との思い出や色々な経験をさせて頂いている今日この頃です。

今回の【支援者の窓】で、自身の経験談と抱負と言う事で、経験談と致しまして、先日、Hさん（利用者さん）が私の方に来られ、文字カード使い1文字1文字を指をなぞられました。単語を繋げると「くまもん、はし」となぞられ私の中で、ある記憶が蘇りました。Hさんは、入職初年度に担当をさせて頂いた方で、言語障がいがあり、文字カードとジェスチャーでコミュニケーションをとられていて、最初の頃は、単語？から何かを言われている（訴えている）様子は見られましたが、汲み取る事が出来ず、何度も聞いたり、何を伝えたいのか分からず、右往左往していた日々でした。時と共に、何となく伝えたい事を汲み取る事が出来る様になり、半年程経過したある日、Hさんが帰省から学園に戻って来られると、私の所に来られ、文字カードを使い「おみやげ」と指をなぞられ、何やら袋に包まれた物を渡されました。「開けて良いですか？」

40th anniversary

と尋ね、開封すると、中から「くまもん」の箸（青色・赤色）が二膳入っており、文字カードを使い「あお、うめだ。あか、おくさん」と文字カードで伝えられた事に驚きと嬉しさで、「ありがとうございます。」と伝えたい時、領きながら満面の笑みをされていました。

今でも、その箸2膳共、我が家の食事の際に使用していることを伝えようと、7年前と同じ笑顔を見せていた事が嬉しかったです。ちなみに、ご本人へ「今度、私担当しましょうか？」と尋ねると、全力で手を横に振られます（汗）

抱負と致しまして、私は、入所部主任という役割に就いています。初心を忘れず、利用者さん達に、生活や活動や催し等、一人ひとりの障がい特性や個性にあわせ、出来る事・楽しみ・経験を黒子になつて支援を行う事です。又、一緒に働く職員が働き易く、互いに成長できる職場を目指します。

（入所主任 梅田 敬二）

清流会 水川学園が40周年を迎え、コロナ禍ではありますが、皆さんと一緒に祝いできたこと、とても幸せに感じます。水川学園の支援者として9年目を皆さんと過ごしてはいますが、これまで数えきれないほどの貴重な経験をさせて頂きました。どの経験も、全てが良い思い出とはいえないのが本音です（笑）それでも利用者様と過ごす時間は、私にとつ

40th anniversary

て特別な時間です。担当させて頂いてる利用者様とお話をさせて頂いて下さい。Kさんは、声掛けには反応がありませんが、言葉の意味が理解できているかは分かりません。それでも、ご本人なりに理解されているのか、声掛けに対してしっかりと返答されることもありました。支援者が誰なのか、名前が出ないことがほとんどです。私は、担当としてKさんと接することが多く、なるべく分かってもらえるようにと何気ない会話や出来事、食事のメニューなど、声掛けを大切にしています。返事がないのは辛いけど、たまに答えてくれること、「ありがとうございます」「ごめんね」と本意であるかは解らないけど、声に出して言ってくれたときのことが返事がないときの辛さを吹き飛ばしてくれます。毎回じゃなくていい、たまに声が聞けたらいいな。と思うようになりました。たまに聞ける声やたまに見れる笑顔、毎回とはいかないけれど、そのたまにが私の支援者としての醍醐味かもしれせん。これから様々なことがあると思います。まだ、過ごしていく日常が続いています。また、工夫しながら、皆さんと楽しく過ごしていきたいと思っています。

（入所支援員 中島 瑞穂）

今年で水川学園に入職して四年目になる坂口です。自分はまだまだ他の先輩職員の方々に比べたら勤務年数は少ないですが、日々利用者様と過

40th anniversary

ごしていく中で楽しい思い出や貴重な体験をさせて頂いています。そんな中でも私の中で一番記憶に残っている出来事についてお話ししたいと思います。そのお話しは私が入職してまだ一年も経っていない時のことです。私が、あるユニットに入ると利用者様Sさんがおられ、「いつも坂口さんね。よろしくお願いします。」と笑顔で話しかけて下さっていました。新人だった私にとつてSさんは、とても印象に残っていました。ある日、私が、入職して初めて入所棟の二階での夜勤をした日のことです。その日もいつも通りSさんとあいさつを交わして普段と何も変わらない様子で過ごされ、夜には居室で就寝されていました。しかし、Sさんは次の日の朝に居室にて持病が原因で亡くなりました。その時、私は「もつとSさんと話したかった。もつとSさんについて色々なことを知りたかった。」と後悔しました。私たちもそうですが、人間にはいつどんなことがあるか分かりません。この出来事をきっかけに私は後悔しないように日々の支援をさせて頂く中で利用者様とたくさん話そう思いました。それから日々の支援では、たくさん話すこと心掛けて支援に携わらせて頂いています。今後支援させて頂く中で私は一人でも多くの利用者様と話すことで利用者様の事を少しでも知っていきたくと思っています。

（入所支援員 坂口 拓真）



氷川からの夏だより



エン肖班13名で制作



制作



もみじユニット

こいのぼり絵画

スローアート



色彩やかな花火の完成

絵付け



色合いも涼しげ♪



十人十色の風鈴作り

七夕



願いを込めて飾り付け



日奈久ガーデンヴィアロードへ

ドライブ



八代外港にて



七夕飾りの前でニッコリ😊

レクリエーション



夏は水遊び!! 水鉄砲

輪投げ

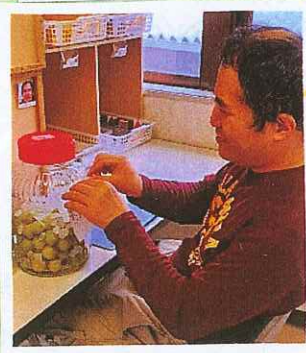


狙い定めて..「それーっ!!」

遂に完成!!



完成の日付を貼って



氷砂糖と酢も入れます



梅ジュース作り

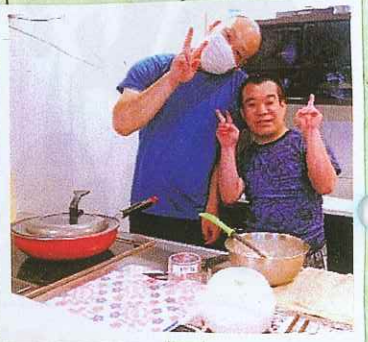


学園で収穫した梅を使って

楽しみに待つこと
1ヶ月。。。

調理

ようかん



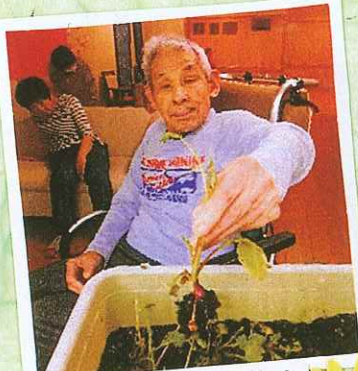
ホットケーキ

和菓子に洋菓子お任せあれ!!



手作りコースターでカキ氷がタタ

栽培



ラディッシュ収穫!



夏野菜いろいろ



種まき



ポップコーン

誕生会

4月



みんなで大事に育てました



嬉しかり!

6月

古稀祝い

7月



造道さん 70歳! これからも益々お元気で

5月



大きなプレゼント!



山口 伸一様 角谷 安代様 松本 良子様 高三 瀨 宣英様
 林田 靖恵様 嶽本 拓夫様 賀久 博彦様 中村 カツ子様
 松岡 順子様 吉野 信久様 平崎 文男様 千野 真由美様
 松村 君夫様 伊藤 幸子様 造道 康一様 荒木 高弘様
 嶋崎 悦子様 星田 夏美様 吉見 茂様 武藤 多花彦様
 谷口 初大様 上田 花子様 西本 勝彦様 吉武 純一様
 吉村 匡由様 徳永 隆二様

(株)田河東洋男商店様(有)宮原調剤薬局様
 (株)ケアパーク様 (株)くまもとメディカル様
 日本製紙八代サポート(株)様
 八代デンタルクリニック様 那須酒店様
 サニーサイド 衛藤 眞知子様 ヴィラささゆ 山崎 雅之様
 熊本県知的障がい者施設協会様
 社会福祉法人御陽会 理事長 武元典雅様
 社会福祉法人茜会 あかね園 理事長 高橋泰子様

新型コロナ禍に付するお見舞い等含め、
 たくさんの方々よりお心遣い頂きました。心より御礼申し上げます。

NEW Face

か い けんいちろう さかたあきと
 甲斐謙一郎さん・坂田哲人さん(氷川学園)

やまだかなこ
 山田香奈子さん(風楽)

おおいしめぐみ
 大石 恵さん(わろっ)

す わ き よ こ ふじわらきようこ
 須波清子さん・藤原京子さん(グループホーム)

《NEWFace 代表して一言》

皆様の心に寄り添えるように頑張って
 参りますのでよろしくお願いします。〈甲斐〉

退職職員

う え だ は な こ
 上田花子さん(氷川学園)
 み や さ き ま い
 宮崎真衣さん(わろっ)
 お世話になりました

今夏は、Tokyo2020オリンピックが
 ございましたね。氷川学園では、手
 旗を準備し、利用者様達に紛れ職員
 も一緒に、TVで応援をしていました。
 「がんばれ〜」の声援が日々こだま
 しており、日中の楽しみの一つとして
 笑顔や会話も多く過ごされていまし
 ました。次は、パラリンピックに向けて応
 援の準備をしています。
 上記にも記載しています通り、氷川
 学園に二名、風楽とわろっに一名ず
 つ、グループホームに二名の職員の方
 が入られています。フレッシュな職員
 の皆さんと一緒に氷川学園を盛り上
 げていきたいと思えます。

(広報部)

編集後記



造道幸二様



おめでとうございます
 この度、古稀のお誕生日を迎えら
 れました事を心よりお祝い申し上
 げます。

いつまでも、元気に楽しく過ごして
 いきましょうね♪

行事

ひかわの森マルシェ(予定)

〈毎月開催〉

- ・利用者自治会 たけのこ会
- ・誕生会

※〈お知らせ〉

夏季休暇の帰省・面会等は、
 新型コロナウイルスの感染拡大の防止
 の為、状況により対応します。